

あなたと市政をつなぐ情報紙 市民派無所属

府中市議会議員／会派 市民の風

ゆうきりょう

市政
通信

毎日ブログ更新中

ゆうきりょう



電話 090-4136-7642



府中の中心市街地は活性化しているか!? 府中駅再開発事業の検証を

国から支援の「府中市 中心市街地活性化計画」が終了・納税者の思いが街づくりに生かされているのか

府中市は国から認定を受け、「府中市 中心市街地活性化計画」を推進してきました(期間は平成28年7月から令和4年3月)。目的は、近隣自治体の市街地と比較して競争力を取り戻すことです。この間、市は府中駅の再開発事業を2017年7月の南口再開発ビル「ル・シーニュ」の完成で終了し、現在は「まちづくり府中」会社などを発足させ、行政が活性化策を後押ししてきました。



市、人口も集客数も共にダウンしたのが青森市、人口が増えたものの集客数がダウンしたのは富山市とのことです。コロナ禍以前でこの状況であり、その後に新型コロナ感染拡大という、予期せぬ事態が発生し日本経済への大ダメージがあったわけです。

府中市の場合もこの間、3年前に伊勢丹が撤退。代わりに「ミッテン」がオープンしましたが、コロナ禍のスタートとなり、地域経済の停滞が続いています。さらに府中駅周辺にあった野村証券は調布市に、大和証券も多摩市に移転するなど証券会社も撤退。こうした現状を鑑み府中駅南口再開発事業に対し、市民がどのような評価をしているのか、また再開発事業がどのような「プラス」と「マイナス」をもたらしているのかについて、市は深い検証作業をするべきです。

府中市が新たに「中心市街地活性化ビジョン」を策定へ

府中市は今後も中心市街地の活性化策を継続するために、独自の「中心市街地活性化ビジョン」を新たに策定しました。期間は令和4年度から12年度までとして、ビジョン実現の事業としては①にぎわい創出事業(人を集める)、②商業活性化事業(売り上げを増やす)、③回遊性創出事業(人が動く)、④エリアマネジメント事業(人が交わる)、⑤調査、研究事業(まちを分析する)を実施するとしています。

また具体的な指標として①大規模商業施設の年間販売額の増加、②中心市街地空き店舗数を減らす、③東京競馬場タイアップ年間利用組数向上、④休日の歩行者交通量の増加、⑤公共施設の年間利用者数の増加などを数値目標としています。

この具体的な指標として掲げられた①については、民間企業や団体が独自の営業努力でやるべき課題であり、市場のことを一番知っているのは民間企業です。行政に頼る支援策が成功していないことは、全国の教訓でもあり、多額の税金を使った再開発事業であっただけに、議会としても行政に対して、厳しい検証を求めなければなりません。

国からは府中駅再開発事業への支援金として、約11億円を投入

同計画の区域は府中駅を中心に62.29ヘクタール、コロナ禍以前のデータですが、2006年と2015年を比較すると、市街地の人口は増えているものの、府中駅南口とフォーリス前の歩行者交通量は減少、また大型商業施設の年間販売額は17億円のマイナス、鉄道駅の乗降客数も府中駅、府中本町駅ともに微減となっています。またこの計画中に国から受けた補助金の額は、「プラッツ」の整備関係で8億5千万、府中駅南口再開発事業の関係で2億8千万円程度の計11億円強が国から支給されているとのこと(ちなみに府中市、国、都を合わせ府中駅南口再開発事業全体に投じられた総額は350億円程度)。

「中心市街地活性化計画」を実施した自治体のうち、目標達成は3割ほど

少し古い記事ですが、2018年12月29日付の読売新聞朝刊1面に、この中心市街地活性化計画についての記事が掲載され、「地方都市の中心部ににぎわいを取り戻すために作られる、『中心市街地活性化計画』が空振りに終わるケースが相次いでいる」「実施を終えた109市の人口や店舗数などの目標の達成率は3割にとどまり、実施前より悪化したケースは5割に上ることが読売新聞の調査でわかった。商業・観光施設の整備などに、この10年間で国の補助金を含め計2兆3200億円が投じられたが、急速に進む人口減などの影響で街の再生は難航している」とあります。

全国ではコロナ禍以前でも中心市街地活性化計画は振るわず

「同計画では(自治体が)複数の目標を掲げて5年前後で成果を出すよう求められ、国の認定を受けると、駅周辺や商店街の施設整備などに国の補助金が出る。事業費の総額のうち国費は3割弱」とあります。また同記事によると人口増と街の集客数ともにアップしたのが、愛知県の東海



おかしくないですか・固定資産税納税期限延長の記事より、サッカーの記事が市の広報の全面に！納税者の声を聞いてほしい！

(市民の声より)

納税者の声といえば、昨年ですが、国税庁は新型コロナ感染拡大の影響を考慮して、納付期限を3月15日から1ヶ月間延期しました。また東京都もこれを受けて、固定資産税の納付期限を1ヶ月間延期しました。ところが府中市といえば、そのような記事こそ(広報ふちゅうに)載せるべきところに、サッカーの記事を写真付きで掲載。また(固定資産税の)納付が当然延期されると思っていましたが、私の世帯あてに早々に督促状が来ました。コロナ感染拡大の影響をうけて苦しんでいる市民のことを、府中市は考えていなかったのか……。 (以上、市民の方からの投稿より)



ゆうきりょう のラジオパーソナリティ番組

FM府中(ラジオフューズ、87.4MHz)「府中市議会議員 ゆうきりょう 市民の風」、毎週火曜日22時45分から6分間放送、日曜日も再放送。市政の動きなど情報を発信中。ぜひお聴きください。

府中市の小学校でもマスク着用について、熱中症などの健康面も考慮した指導をしてほしい・保護者の方と教育委員会に要望

学校側には場面に応じてマスクをはずしてもいいと、指導としてほしい（教育委員会）



先日、市内の小学校にお子さんを通学させている保護者の方と共に、府中市教育委員会に学校におけるマスク着用の件で要望をしました。教育委員会では4月11日には各

学校宛に、熱中症の恐れのある場合について通知を发出し、①登下校中は十分な身体的距離を確保した上でマスクを外すこと、②体育・運動時には必ずマスクを外すこと、③教室においても十分な距離を確保した上でマスクを外すこと、④自身でマスクを外す判断ができない低学年の児童には特に積極的に声掛けをしてマスクを外すようにすること、⑤新型コロナの感染不安もあるが、熱中症の方が命を落とす危険性についてより重大であるので、熱中症対策を優先すべき点について、場面と状況に応じて児童のマスク着用については、柔軟に対応するよう指針を示しているとのことです。

マスク着用への同調圧力はあってはならない（教育委員会）

また市教委の担当者は、一般的にあるマスク着用への同調圧力については「あってはならない」とし、「安全対策の観点から、マスク着用を推奨指導してはいるが、マスクを着用できない（したくない）という様々な事情がある、お子さんもいることを考慮するのは当然」とし、「常時マスク着用を強制するような指導方針はしていない」、さらに「場面、場面によってはマスク着用をしなくてよい」との考えを、あらためて示しました。

「ぜひ」多摩市の教育長のように、学校でのマスク着用に関する柔軟な考えを、保護者、市民にオープンにしてほしい（ゆうきりょうからの要望）

保護者の方からは、こうした教育委員会の考えを聞いて安心される一方、「実際の学校現場では、教育委員会の方針通りの指導にはなっていない。事実上、子どもたちにはマスクの着用を『義務』化しているのが実態」という声が伝えられました。また私はから、多摩市の教育長のようにホームページなどを通じて、マスク着用に関する市の柔軟な考えを伝えることなど、教育委員会からオープンに発信してほしい」と要望しました。※問い合わせ先 府中市教育委員会指導室 電話042-335-4062

府中市でも「地域猫」の命を守り、「飼い主のいない猫」をゼロに！

府中市内で保護猫活動をされている団体へ支援策の拡充を求めたい



2018年12月議会のことですが、私は地域猫を捕獲、保護して献身的に活動されている団体への支援策の拡充について、一般質問しました。具体的には①地域猫を捕獲したあと、里親にだすための譲渡会を開催しているボランティア団体に対して、譲渡会の会場を市が紹介や斡旋、提供などを質しました。

市の答弁は「統一的な基準を定める必要があるなど、実施にむけて多くの課題がある」と答弁。ただし「公園などの屋外での開催の申し出に限れば、施設管理者等との可否や条件等について検討していくことは可能ではないかと考えている」とも答弁しました。あわせて現在、地域猫の避妊などの手術費用を団体に対して市は援助しているが、ぜひ個人にも保障をしてほしいと要望しました。

また地域猫に対する市の広報活動にも力をいれるよう求めたところ「今年度中（18年度）に市の広報に掲載したい」との答弁がありました。この地域猫を減らす活動は動物愛護の点からだけでなく、地域の環境美化という視点からも求められている課題だと主張しました。

この間、NPO法人「府中猫の会」の方々などのお話を伺い、保護団体のみなさんは、市役所から地域猫の捕獲の協力依頼をうけて、大変な活動を献身的にされていることを知りました。今後も「飼い主のいない猫」の問題については、継続して要望していきたいと考えています。※地域猫に対する府中市へのお問い合わせ 環境対策課 電話 042-335-4195

●●● 府中市令和4年度予算と私たちの暮らし ●●●

①府中市が子育て相談 スマホで医師に無料相談サービスをスタート

府中市では「オンライン子育て相談事業」として615万円を計上し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援体制を充実させるため、スマートフォンからSNSを利用し、24時間365日、産婦人科医、助産師、小児科医に相談できる環境を整備。無料で相談できるサービスで、原則24時間以内に回答が届くとのことです。※問い合わせ先 子ども家庭支援センター電話 042-354-8700

②府中市が空き地、空き家整備、空き店舗対策

●空き家の荒廃を予防し、利活用につなげるために市内全戸を対象とした、実態調査を行います。※ご近所の空き家に関する相談窓口・生活環境部環境政策課 管理係、電話：042-335-4195
●地域活性化のため、商工会議所が実施する市内商店街の空き店舗を活用する場合、その事業費に対して家賃補助（補助率3分の2）を半年間行います（上限25万円）。（予算は1040万円を計上）。※問い合わせ先、住宅課 支援係へ、電話：042-335-4458

街の話題

府中で来年こそはくらやみ祭りの開催を！

・・今年も露店、条件付きで復活

今年の大国魂神社の例大祭「くらやみ祭り」は、神事である渡御（とぎよ）が5月5日に開催されました。読売新聞の記事では「（渡御）は祭りの最大の見どころで、例年は5日に実施される神輿渡御は、新型コロナの影響3年連続中心となった。一方で今年は酒類販売禁止とテイクアウト限定の条件つきながら、露天商約170店が出店し、境内や沿道は大勢の見物客でにぎわった」とのことです。来年こそは全面的に開催してほしいものです。私もお雛子を習っていますので、ぜひ「披露」させていただきたいです。



ご意見、ご要望、苦情などお寄せください

ゆうきりょう



ゆうきりょうに市政などへのご意見、ご要望、苦情などお寄せください。アドレス yuki4551@ozzio.jp 電話 090-4136-7642 住所 府中市紅葉丘2-6-3 メイプルタウン吉野D202

※電話の場合は、留守電にコメントを入れてください（電話にでられない場合があります）。※ゆうきりょうはブログを毎日更新していますので、ぜひご覧ください。「ホームページ検索→ゆうきりょう」

府中市議会議員 ゆうきりょう（結城 亮）プロフィール

昭和45年（1970年）5月11日生まれ、52歳。横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建府中国立支部事務局などの仕事を経て、2015年4月から府中市議会議員、現在2期目。文教委員会委員、市庁舎建設特別委員会 副委員長。無所属会派「市民の風」所属。現在は独身。